

三木町総合計画（総合戦略）策定のためのアンケート調査結果報告《概要版》

I 調査概要

1. 調査の目的

令和8年度を初年度とする「三木町総合計画（総合戦略）」の策定に際し、まちづくり全般に対する町民の意向を把握することを目的に調査を実施しました。

2. 実施概要

調査名	対象	実施時期	調査方法	回収数
三木町のまちづくりに関するアンケート調査	18歳以上の町民 1,008人	令和7年5月9日～5月30日	郵送法（郵送による配布・回収）及びWebアンケート	有効回収数：472票 有効回収率：46.8%
三木町 将来のまちづくりアンケート	三木中学校3年生 240人	令和7年5月9日～5月30日	アンケートフォーム	有効回収数：224票 有効回収率：93.3%

3. 調査結果の見方

- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。（回答者総数または該当者数）
- ・質問の終わりに【複数回答可】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の数値や選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が0%であった箇所の数値や選択肢の文言は省略していることがあります。
- ・質問の選択肢は、基本的に「 」で表していますが、選択肢を2つ以上合わせて数値を示す場合は“ ”で表してあります。

II 調査結果のまとめ

本調査結果から、今後三木町が検討すべき課題を以下のとおり整理します。

<p>三木町への定住意向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町民の居住経歴を見ると、UIターン者が最も多く、6割を占めている。また、中学生においても、「小学生になる前から」及び「父母の世代から」が回答の6割近くを占め、出産・育児に伴う人の流れが本町の特色となっている。 ■ 町民・中学生ともに将来の定住意向は過半数が「住み続ける」と回答。その主因は「持ち家がある・家賃が安い」こと及び「町への愛着」である。 ■ 町からの転出理由を見ると、町民は交通の便及び買い物・通院のしにくさ、中学生は就職先の不足を挙げている。
<p>地域活動等に対する参加意向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域活動への参加意向は、約4割の町民が「町と協働したい」と回答。また、年齢層別では30代の参加意欲が最も高い。
<p>三木町の自慢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「豊かな自然」、「住みやすい住環境」、「子育て・教育環境」等を評価する声が多い。
<p>三木町の取組に対する満足度と優先度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「こどもの遊び場の整備」・「雇用機会(企業誘致、就労先の確保)」・「空き家対策」が最も満足度が低く優先度が高い。 ■ 最も満足度が高いのは、「ごみ処理、資源循環・再利用」となっている。 ■ 最も優先度が高いのは、「夜間・救急医療体制」となっている。 ■ 分野別の「満足度低・優先度高」項目は次の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 社会基盤：道路・公共交通・河川・こどもの遊び場の整備 ◇ 生活環境：地震・豪雨等の自然災害対策 ◇ 農林業・商工業・観光：雇用機会(企業誘致・就労先の確保) ◇ 福祉・保健・医療：夜間・救急医療体制、障がい者(児)福祉サービス、高齢者福祉サービス ◇ 教育・文化・人権：該当なし ◇ まちづくり全般：空き家対策、デジタル技術を生かした行政サービス
<p>町民の幸福度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町民の幸福度を見ると、平均は7.0点であり、幸福度の平均値は、男性に比べて女性がやや高く、年齢層別で見ると、30歳代の幸福度の平均値が高い。 ■ 町民の満足度を見ると、平均は6.7点であり、満足度の平均値は、加齢につれて低くなる傾向にある。

自由記述（主な意見）	<ul style="list-style-type: none">■ 保育・医療・教育環境の充実に加え、高齢者や障がいのある人も含めた誰もが安心して暮らせる生活環境整備が求められる。■ 公共交通の路線拡充やデマンド交通等、車を持たなくても通院・通学・買い物ができるまちづくりが求められる。■ 地元就職の場を増やす企業誘致や、大学との連携による産業づくりで、若者が挑戦できる環境整備が求められる。■ 豊かな自然や農地を保全しながら、景観や特産品を活かした観光や移住促進につなげてほしい。■ 公園やイベント、スポーツ・文化活動等、世代を超えて人が集まり交流できる場の充実を期待する。■ 空き家・耕作放棄地の対策や防災・防犯・道路整備等、安心して住み続けられる環境が求められる。
------------	--

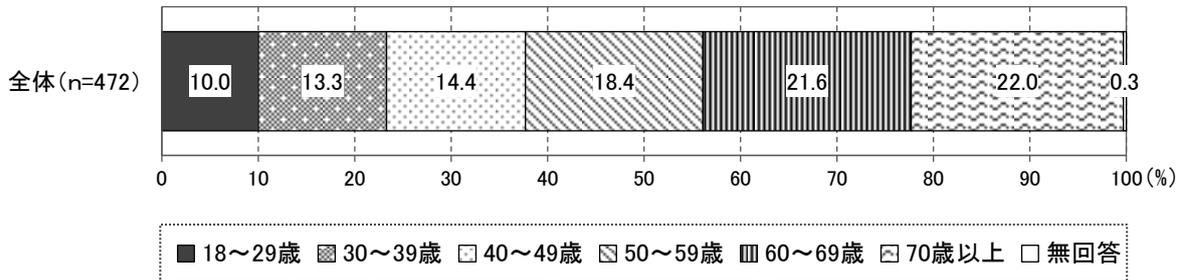
Ⅲ 全体の調査結果概要

1. 回答者の属性

問 年齢

町民

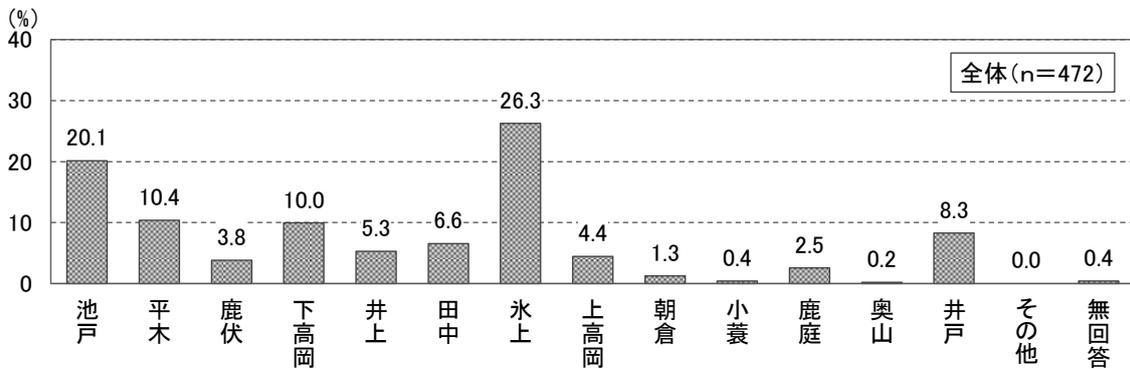
・「70歳以上」が22.0%と最も高く、次いで、「60～69歳」(21.6%)、「50～59歳」(18.4%)の順となっています。



問 居住地区

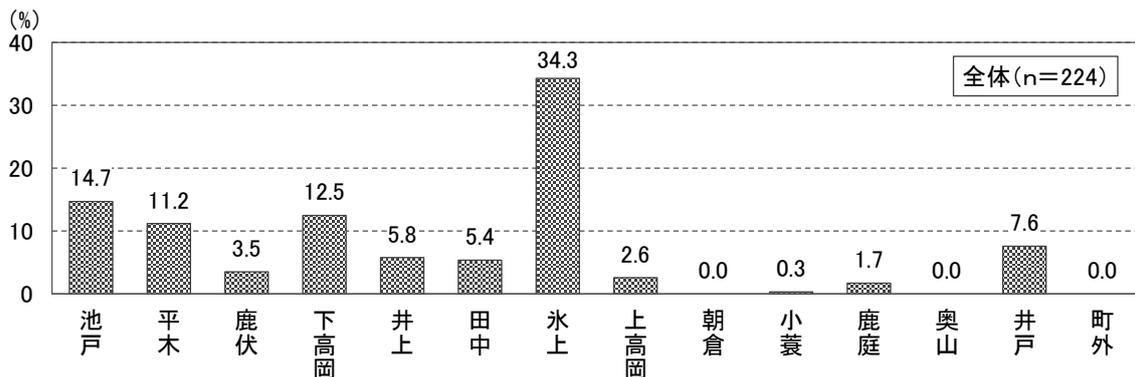
町民

・「氷上」が26.3%と最も高く、次いで、「池戸」(20.1%)、「平木」(10.4%)の順となっています。



中学生

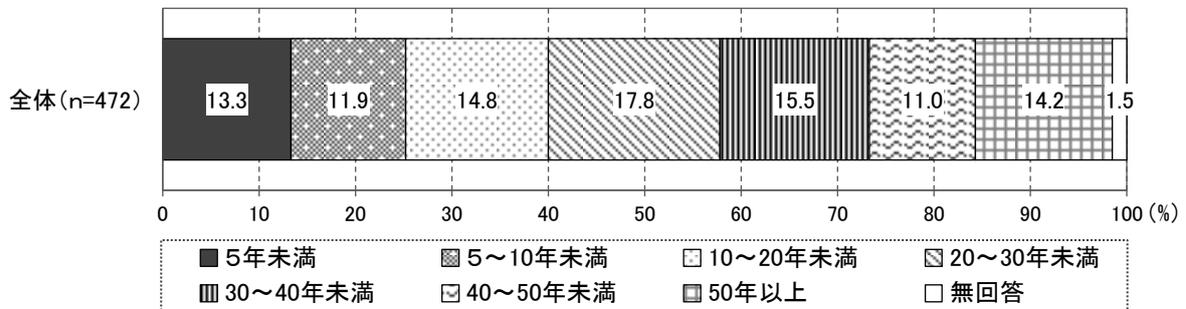
・「氷上」が34.3%と最も高く、次いで、「池戸」(14.7%)、「下高岡」(12.5%)の順となっています。



問 居住年数

町民

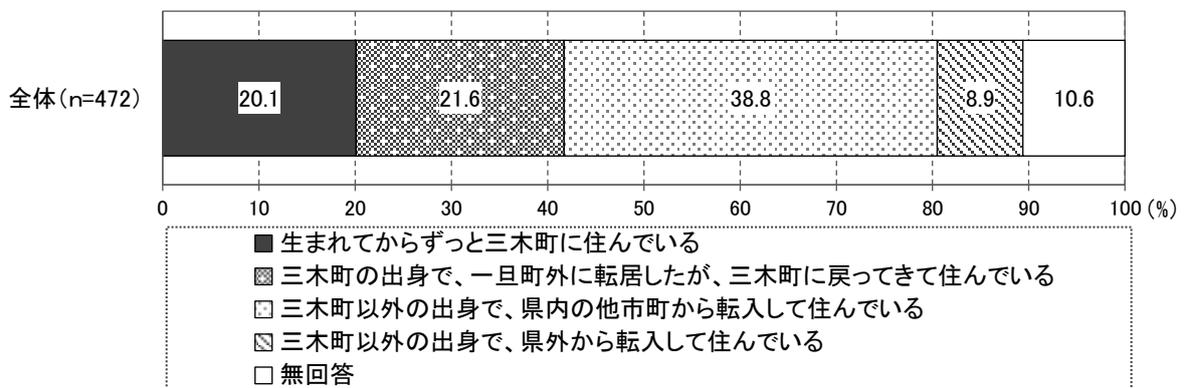
・「20～30年未満」が17.8%と最も高く、次いで、「30～40年未満」(15.5%)、「10～20年未満」(14.8%)の順となっています。



問 居住経歴

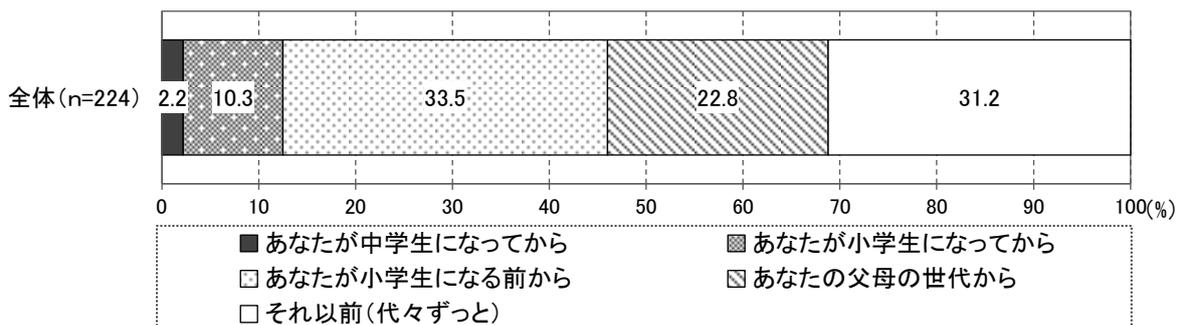
町民

・「三木町以外の出身で、県内の他市町から転入して住んでいる」が38.8%と最も高く、次いで、「三木町の出身で、一旦町外に転居したが、三木町に戻ってきて住んでいる」(21.6%)、「生まれてからずっと三木町に住んでいる」(20.1%)の順となっています。



中学生

・「あなたが小学生になる前から」が33.5%と最も高く、次いで、「それ以前(代々ずっと)」(31.2%)、「あなたの父母の世代から」(22.8%)の順となっています。



2. 三木町での暮らしについて

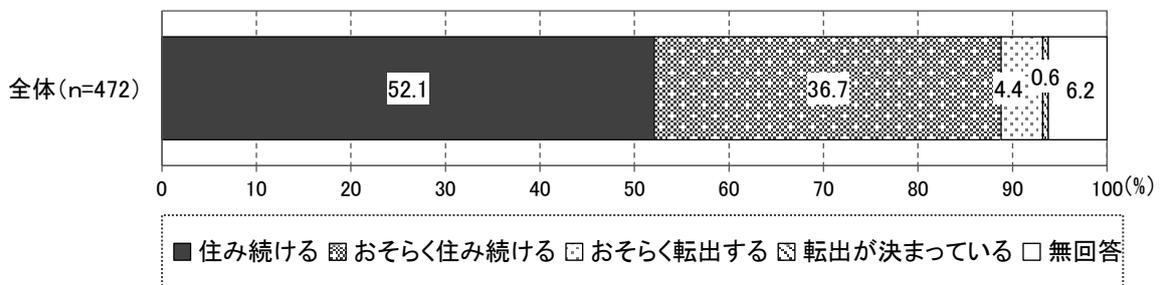
問

これからも三木町に住み続けたいと思いますか。

※中学生調査の設問は「これからも三木町に住み続けたい、または将来的に帰ってきたいという思いはありますか？」

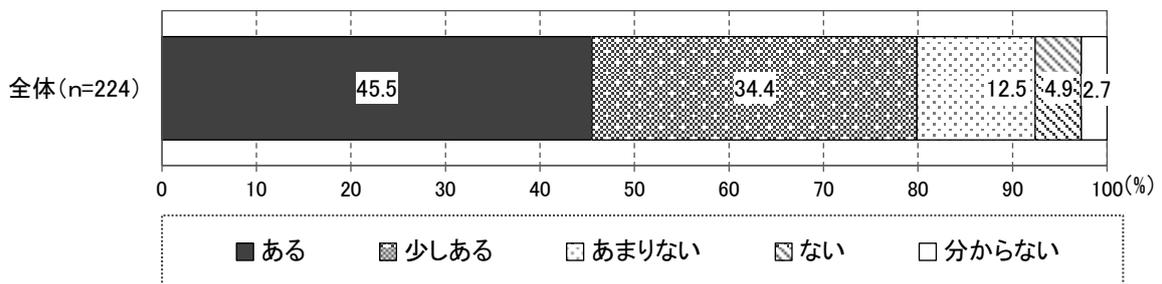
町民

- ・全体では、「住み続ける」が52.1%と最も高く、次いで、「おそらく住み続ける」(36.7%)、「おそらく転出する」(4.4%)の順となっています。
- ・「住み続ける」と「おそらく住み続ける」を合わせた“住み続ける”が88.8%と、約9割の住民が今後も居住の意思を持っていることが分かりました。



中学生

- ・全体では、「ある」が45.5%と最も高く、次いで、「少しある」(34.4%)、「あまりない」(12.5%)の順となっています。
- ・「ある」と「少しある」を合わせた“ある”が79.9%と、約8割の中学生が今後も居住の意思を持っていることが分かりました。

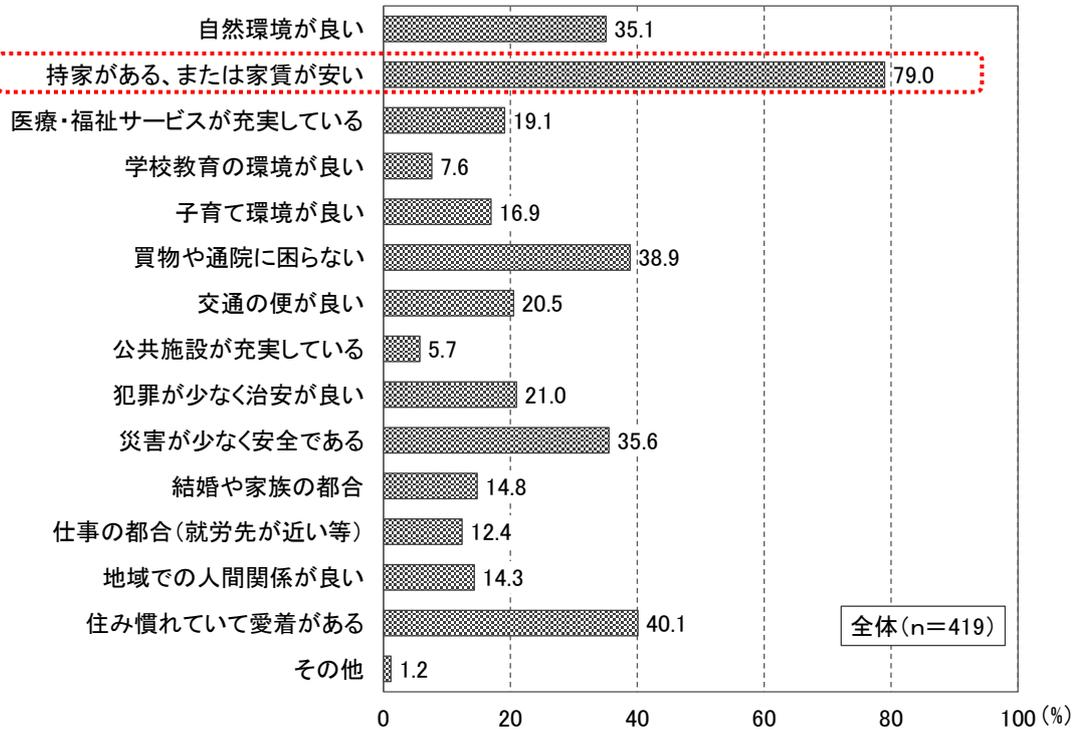


問

◆「今後も三木町に住み続けたいと思いますか。」で、「1.」または「2.」（住み続ける）と答えた方。
 三木町に住み続けたいと思う理由は何ですか。【複数回答可】
 ※中学生調査の設問は「希望する就職地はどこですか？」で、「1.」（三木町内）と答えた方。

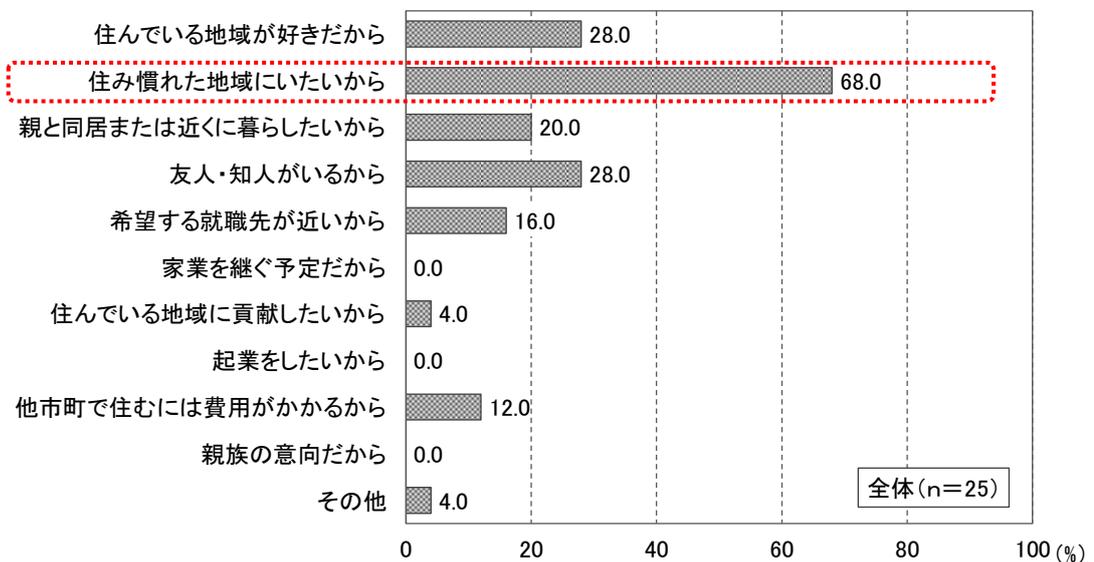
町民

・「持家がある、または家賃が安い」が79.0%と最も高く、次いで、「住み慣れていて愛着がある」(40.1%)、「買物や通院に困らない」(38.9%)の順となっています。



中学生

・高校卒業後に就職すると回答した生徒を見ると、「住み慣れた地域にいたいから」が68.0%と最も高く、次いで、「住んでいる地域が好きだから」・「友人・知人がいるから」(28.0%で同率)、「親と同居または近くに暮らしたいから」(20.0%)の順となっています。

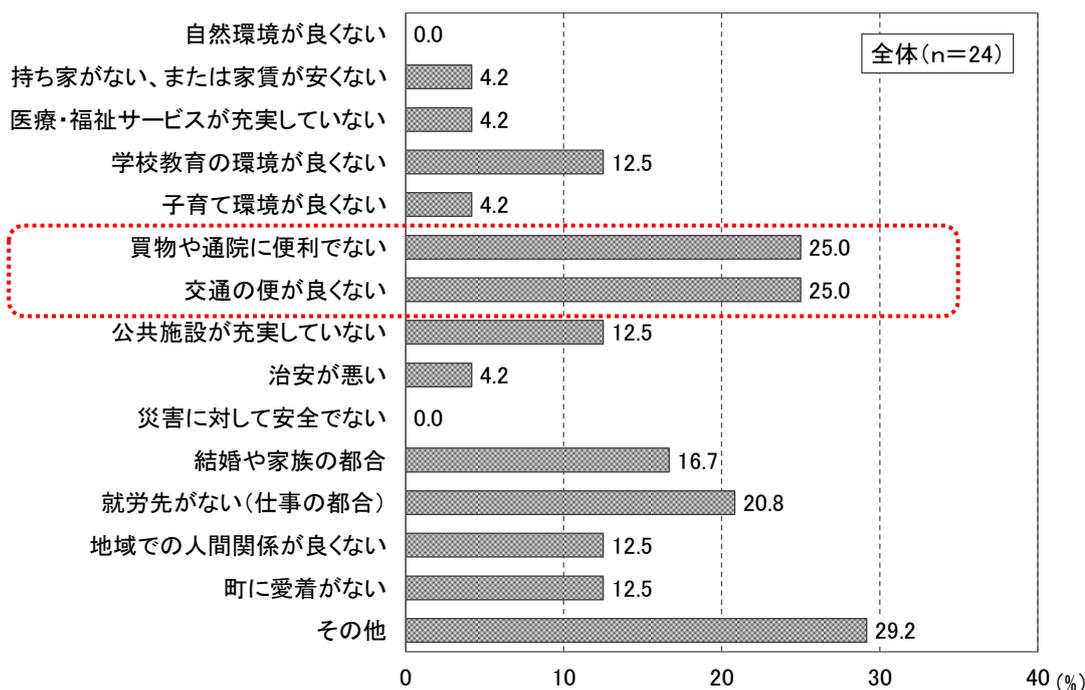


問

◆「今後も三木町に住み続けたいと思いますか。」で、「4.」（転出する）と答えた方。
 三木町に住み続けたいと思わない理由は何ですか。【複数回答可】
 ※中学生調査の設問は「希望する就職地はどこですか？」で、「2.」または「3.」（三木町外）と答えた方。

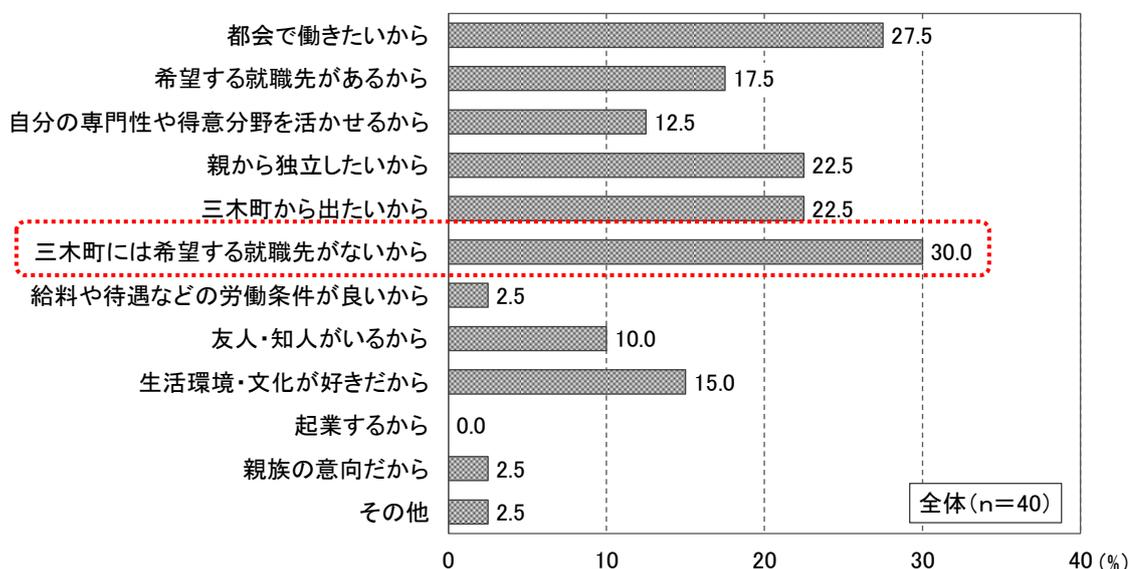
町民

・「その他」が29.2%と割合が高くなっていますが、具体的な理由を見ると、「買物や通院に便利でない」・「交通の便が良くない」が25.0%と同率で最も高く、次いで、「就労先がない（仕事の都合）」（20.8%）、「結婚や家族の都合」（16.7%）の順となっています。



中学生

・高校卒業後に就職すると回答した生徒を見ると、「三木町には希望する就職先がないから」が30.0%と最も高く、次いで、「都会で働きたいから」（27.5%）、「親から独立したいから」・「三木町から出たいから」（22.5%で同率）の順となっています。

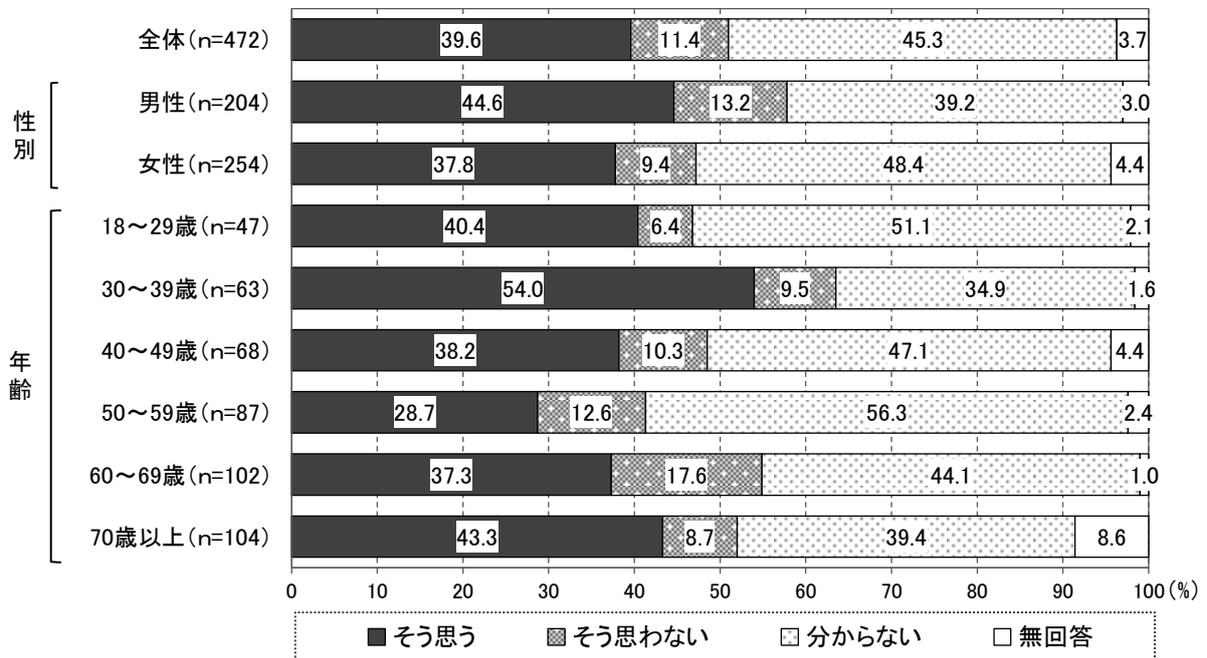


3. 地域活動等に対する参加意向

問 地域住民や各種団体、三木町等とまちづくりの面で協働したいと思いますか。

町民

- ・全体では、「分からない」が45.3%と最も高く、次いで、「そう思う」(39.6%)、「そう思わない」(11.4%)の順となっています。
- ・年齢層別で見ると、他の年代に比べて30歳代で「そう思う」と回答する割合が高く、過半数を超えています。



4. 三木町の自慢

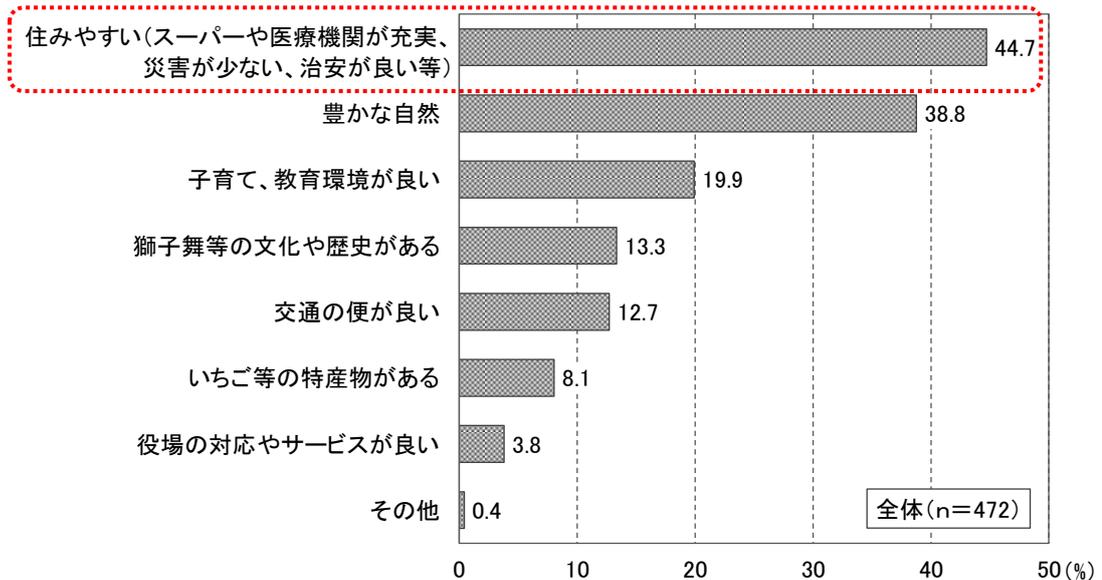
問

あなたが思う三木町の自慢したいところを記入してください。【自由記述】

※住民については、回答していただいた記述をカテゴリーに分けて集計し、グラフ化しました。

町民

・「住みやすい（スーパーや医療機関が充実、災害が少ない、治安が良い等）」が44.7%と最も高く、次いで、「豊かな自然」（38.8%）、「子育て、教育環境が良い」（19.9%）の順となっています。



中学生

※この設問は、自由記述形式のため、意見の記述をピックアップしました。

- 自然が豊かで空気がおいしく、暮らしやすい田舎
- 災害が少なく、治安も良好
- 優しい人が多い
- 病院、買い物、飲食店、役場、駅、スーパー、学校等の主要施設が集約
- 多種多様な店が点在しており、遠出の必要が少ない
- ゴミの分別がない（地域の特徴）
- 保育所～高校まで揃っており、小学校も多く教育環境が充実
- 教育手当が手厚く、子育て支援も充実
- こどもを育てる環境として適している
- 医療機関が充実し、大きな医療大学も存在
- まんでがん等の伝統行事を活かしたイベント・祭りが豊富
- 獅子舞等、地域色の強い文化が根付いている
- 野外の大きな公園があり、遊具の更新も定期的に行われている
- 高松や本州への移動が容易
- 都会すぎず田舎すぎず、程よいバランスの地域性
- いちごがおいしい

5. 三木町の取組の満足度・重要度の分析

問

町の現状に関する次の各項目の「現状に対する満足度」と「今後の優先度」についてお答えください。

町民

「現状に対する満足度」と「今後の優先度」の回答について、以下の方法により点数化しました。

現状に対する満足度		今後の優先度	
とても満足	4点	優先すべき	4点
やや満足	3点	できれば優先すべき	3点
やや不満	2点	あまり優先しなくてもよい	2点
とても不満	1点	優先しなくてよい	1点

各選択肢の回答者数に回答ごとの点数（1～4点）を乗じ、その合計について、全体から「分からない」と「無回答」を除く回答数で割った値をそれぞれの項目の評価点としました。

（例：「現状に対する満足度 ① 道路の整備」の評価点算出）

全体 (n=)	現状に対する満足度 ① 道路の整備					
	とても満足	やや満足	やや不満	とても不満	分からない	無回答
472	34	211	143	53	21	10

（単位：件）

$$\begin{aligned} \text{評価点} &= (4 \times 34 + 3 \times 211 + 2 \times 143 + 1 \times 53) \div (472 - 21 - 10) \\ &= 2.51247 \end{aligned}$$

小数点第3位を四捨五入することにより、評価点は2.51点となります。

■評価点一覧

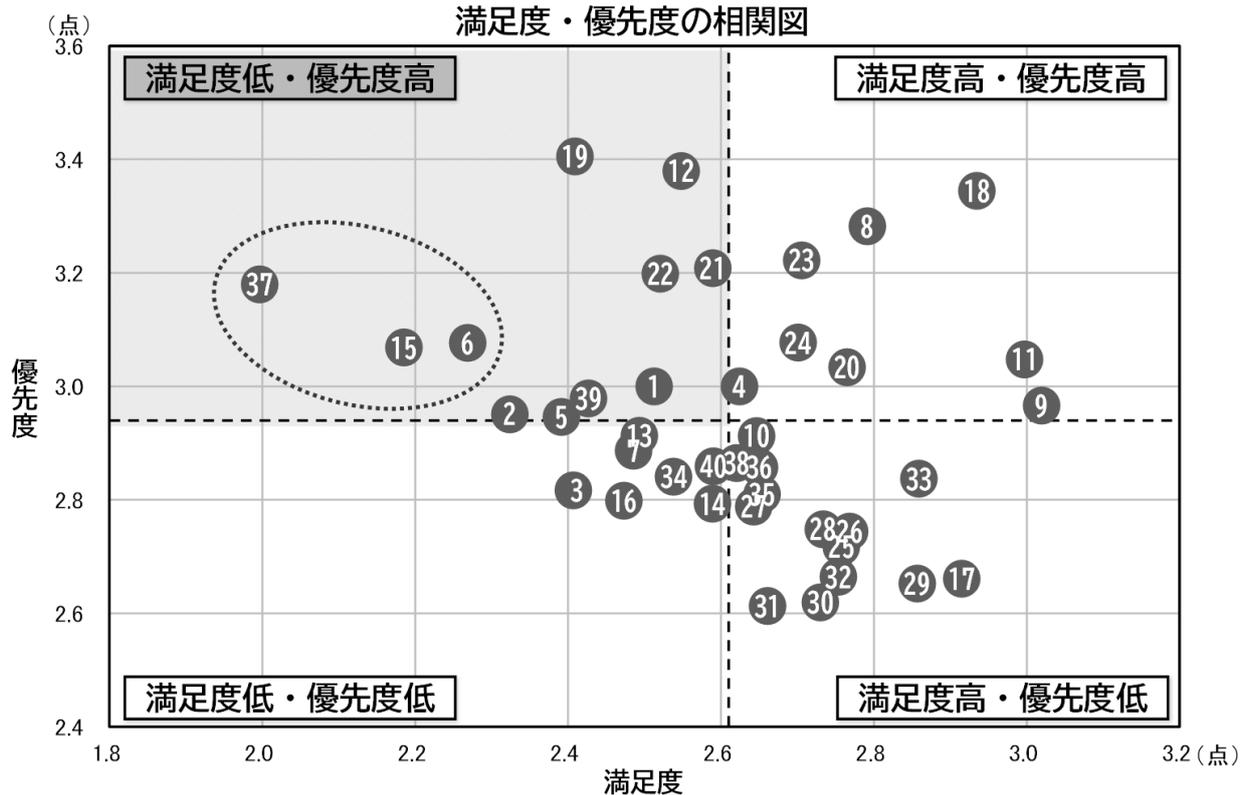
※平均点以上の項目に網掛けをしています。

	項目	満足度 (点)	優先度 (点)
社会基盤	① 道路の整備	2.51	3.00
	② 公共交通の整備	2.32	2.95
	③ 公園・緑地の整備	2.41	2.82
	④ 公共施設等のバリアフリー化	2.62	3.00
	⑤ 河川の整備	2.39	2.95
	⑥ こどもの遊び場の整備	2.27	3.08
	⑦ 情報通信環境の整備	2.49	2.89
生活環境	⑧ 安全な町（防犯、治安、交通安全）	2.79	3.28
	⑨ ごみ処理、資源循環・再利用	3.02	2.97
	⑩ 上下水道、合併浄化槽の整備	2.65	2.91
	⑪ 消防・防火体制の整備	3.00	3.05
	⑫ 地震・豪雨等の自然災害対策	2.55	3.38
農林業、商工業、観光の振興	⑬ 農林業の振興	2.49	2.91
	⑭ 特産品の開発・販路拡大	2.59	2.79
	⑮ 雇用機会（企業誘致、就労先の確保）	2.18	3.07
	⑯ 地域資源を生かした観光振興	2.47	2.80
	⑰ 祭り・イベントの振興	2.91	2.66
福祉・保健・医療	⑱ 子育て支援体制	2.93	3.34
	⑲ 夜間・救急医療体制	2.41	3.41
	⑳ 保健衛生・健康づくりの推進	2.76	3.03
	㉑ 障がい者（児）のための福祉サービス	2.59	3.21
	㉒ 高齢者のための福祉サービス	2.52	3.20
教育・文化・人権	㉓ 学校教育環境の整備	2.71	3.22
	㉔ 青少年の健全育成	2.70	3.08
	㉕ 公民館活動や生涯学習・文化活動	2.76	2.72
	㉖ 図書館・読書環境	2.77	2.74
	㉗ スポーツ振興、スポーツ施設の整備	2.64	2.79
	㉘ 地域の文化・文化財の保護	2.73	2.75
	㉙ 人権・同和教育	2.86	2.65
	㉚ 国際理解教育、多文化共生	2.73	2.62
	㉛ 男女共同参画に向けた取組	2.66	2.61
まちづくり全般	㉜ 地域活動やボランティア活動	2.75	2.66
	㉝ 町の情報発信（広報紙・SNS等）	2.86	2.84
	㉞ 行政と住民との協働	2.54	2.84
	㉟ 周辺自治体との連携（広域連携）	2.65	2.81
	㊱ 移住・定住施策	2.62	2.86
	㊲ 空き家対策	2.00	3.18
	㊳ 大学や民間企業との連携	2.62	2.86
	㊴ デジタル技術を生かした行政サービス	2.43	2.98
	㊵ ふるさと納税制度を生かした取組	2.60	2.86
平均		2.61	2.94

※このページでは、「満足度が低く、優先度が高い」（住民が最も対応を求めている施策項目）に着眼して、結果を分析しています。

全体

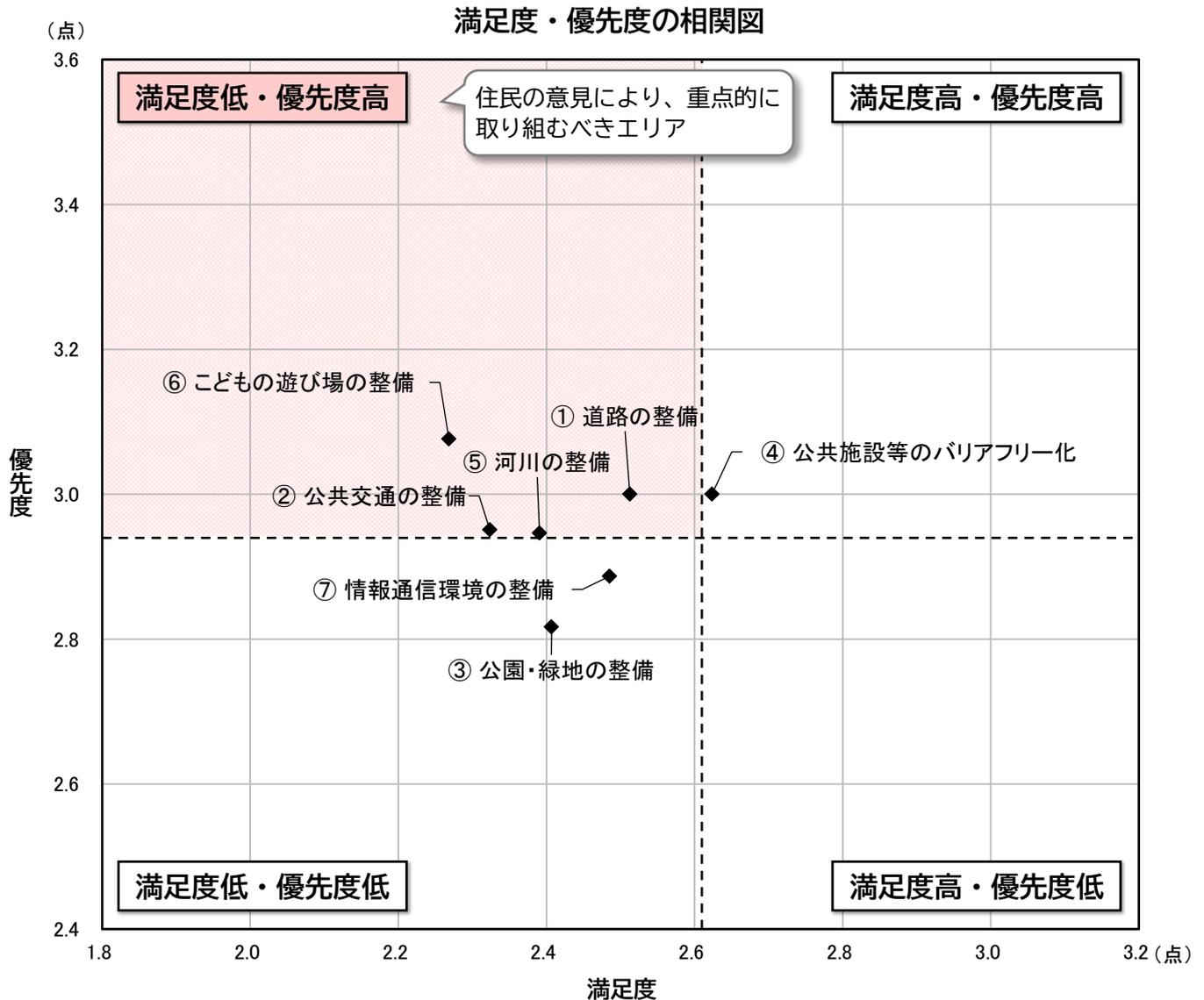
全体では、「⑥ こどもの遊び場の整備」・「⑮ 雇用機会（企業誘致、就労先の確保）」・「⑳ 空き家対策」の項目について、最も満足度が低く優先度が高いところに位置していることから、子育て世代や若年層の定住促進、高齢者の安心な暮らし、地域の活性化につながるようなまちづくりが求められます。



① 道路の整備	⑪ 消防・防火体制の整備	⑳ 障がい者（児）のための福祉サービス	㉓ 男女共同参画に向けた取組
② 公共交通の整備	⑫ 地震・豪雨等の自然災害対策	㉑ 高齢者のための福祉サービス	㉒ 地域活動やボランティア活動
③ 公園・緑地の整備	⑬ 農林業の振興	㉔ 学校教育環境の整備	㉕ 町の情報発信（広報紙・SNS等）
④ 公共施設等のバリアフリー化	⑭ 特産品の開発・販路拡大	㉖ 青少年の健全育成	㉗ 行政と住民との協働
⑤ 河川の整備	⑮ 雇用機会（企業誘致、就労先の確保）	㉘ 公民館活動や生涯学習・文化活動	㉙ 周辺自治体との連携（広域連携）
⑥ こどもの遊び場の整備	⑯ 地域資源を生かした観光振興	㉚ 図書館・読書環境	㉛ 移住・定住施策
⑦ 情報通信環境の整備	⑰ 祭り・イベントの振興	㉜ スポーツ振興、スポーツ施設の整備	㉝ 空き家対策
⑧ 安全な町（防犯、治安、交通安全）	⑱ 子育て支援体制	㉞ 地域の文化・文化財の保護	㉟ 大学や民間企業との連携
⑨ ごみ処理、資源循環・再利用	⑲ 夜間・救急医療体制	㊱ 人権・同和教育	㊲ デジタル技術を生かした行政サービス
⑩ 上下水道、合併浄化槽の整備	㉔ 保健衛生・健康づくりの推進	㊲ 国際理解教育、多文化共生	㊳ ふるさと納税制度を生かした取組

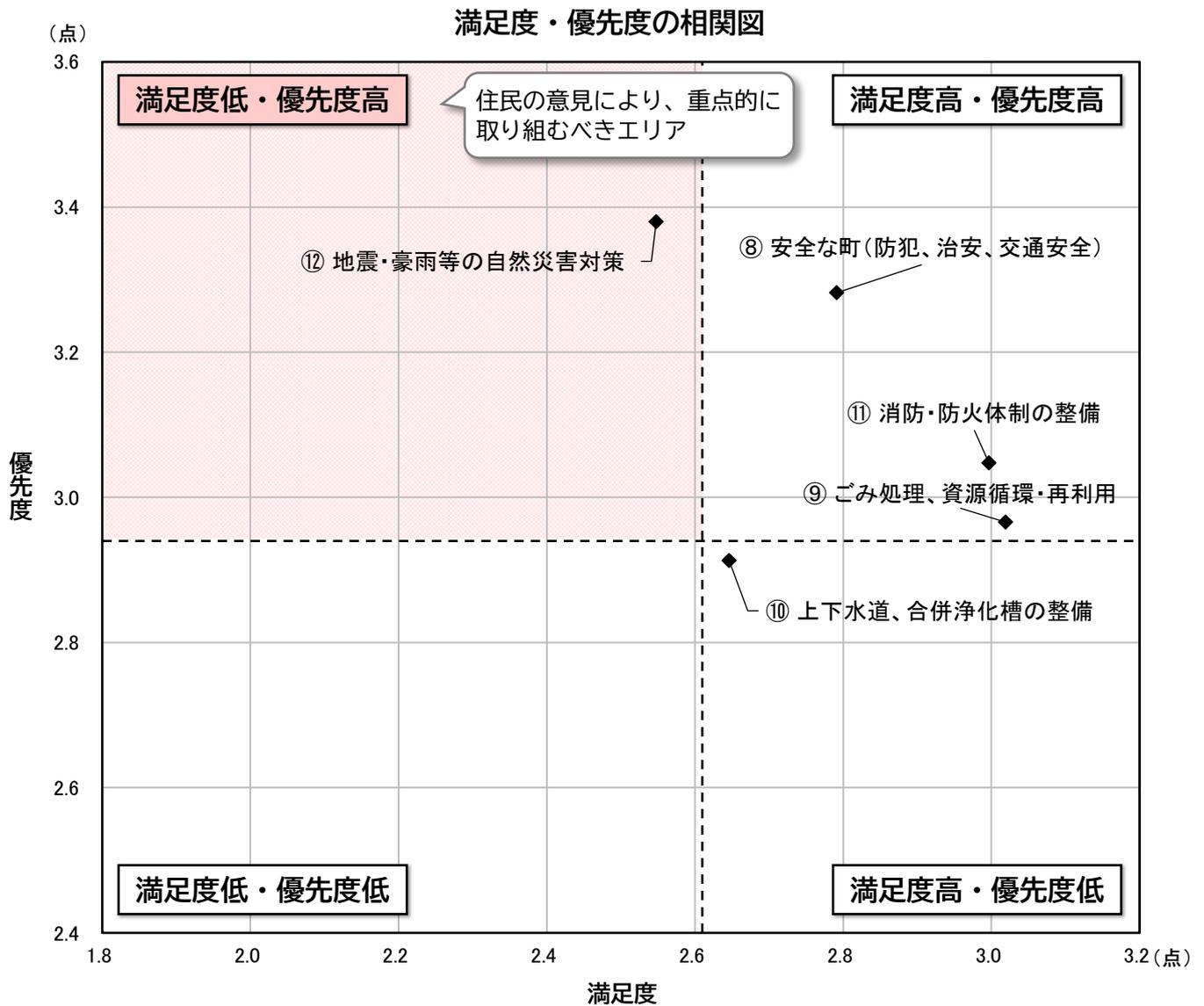
社会基盤

社会基盤の分野では、「① 道路の整備」・「② 公共交通の整備」・「⑤ 河川の整備」・「⑥ こどもの遊び場の整備」の項目について、満足度が低く優先度が高いところに位置していることから、通学・通勤をはじめとする日常の移動の安全性・利便性を高めるための道路整備や公共交通の充実、豪雨時の浸水被害を防ぐための河川改修、こどもが安心して遊べる公園や遊び場の整備といった、暮らしの基盤を支える施策の推進が求められます。



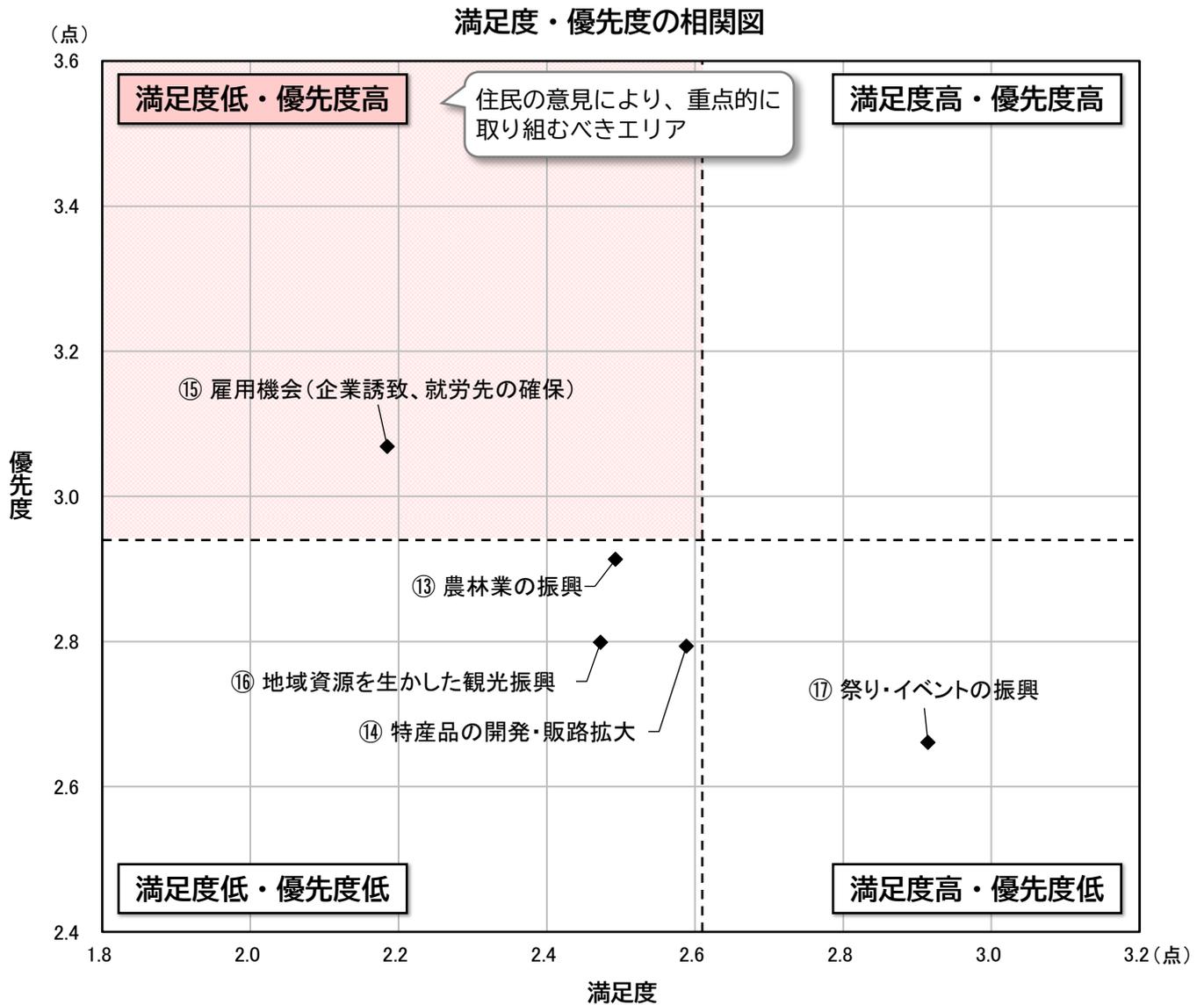
生活環境

生活環境の分野では、「⑫ 地震・豪雨等の自然災害対策」の項目について、満足度が低く優先度が高いところに位置していることから、災害発生時に備えた防災体制の強化や、住民の安全を確保するための取組の推進が求められます。



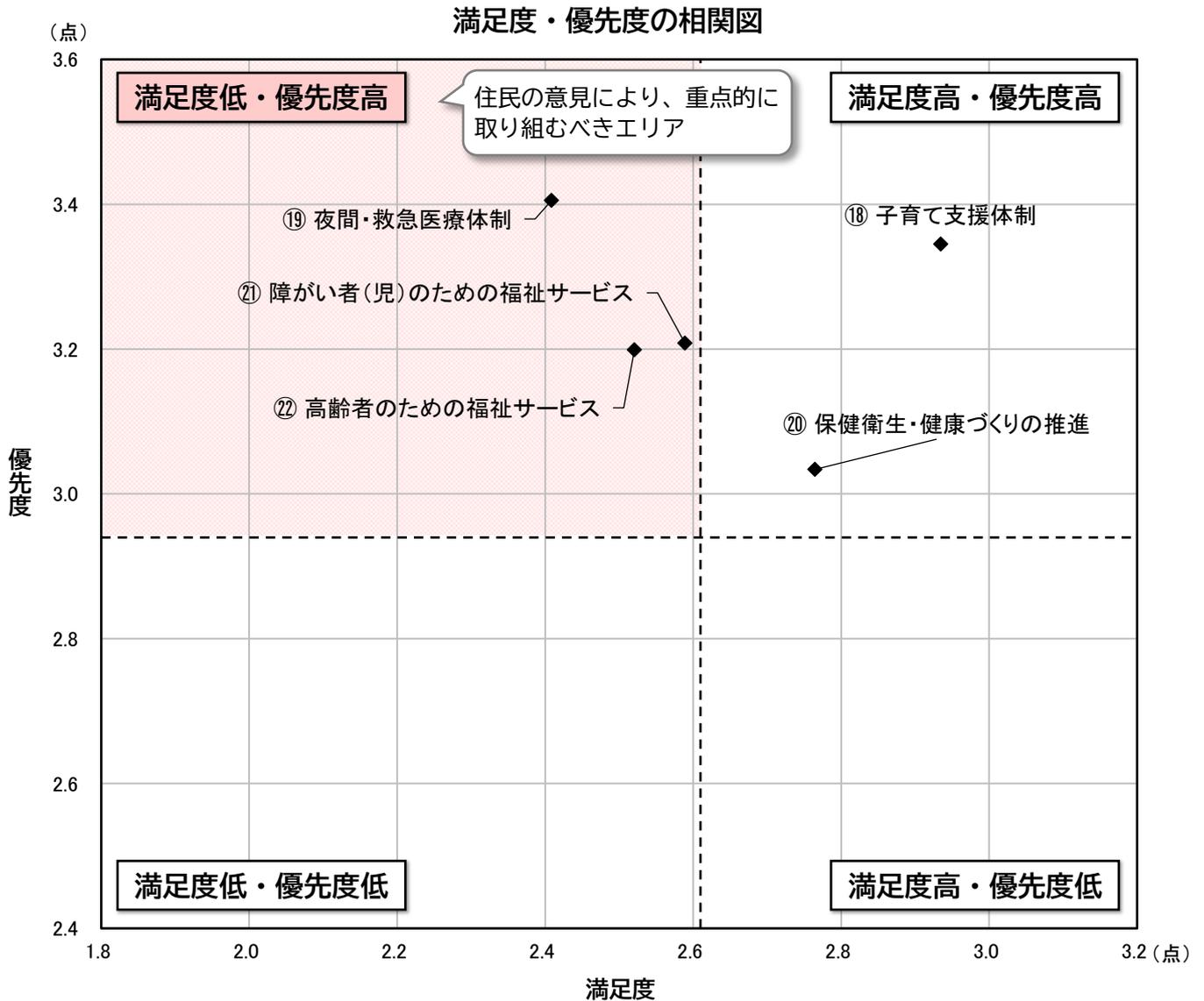
農林業、商工業、観光の振興

農林業、商工業、観光の振興の分野では、「⑮ 雇用機会（企業誘致、就労先の確保）」の項目について、満足度が低く優先度が高いところに位置していることから、地域内での安定した雇用の場の確保や、働く場の充実に向けた取組の推進が求められます。



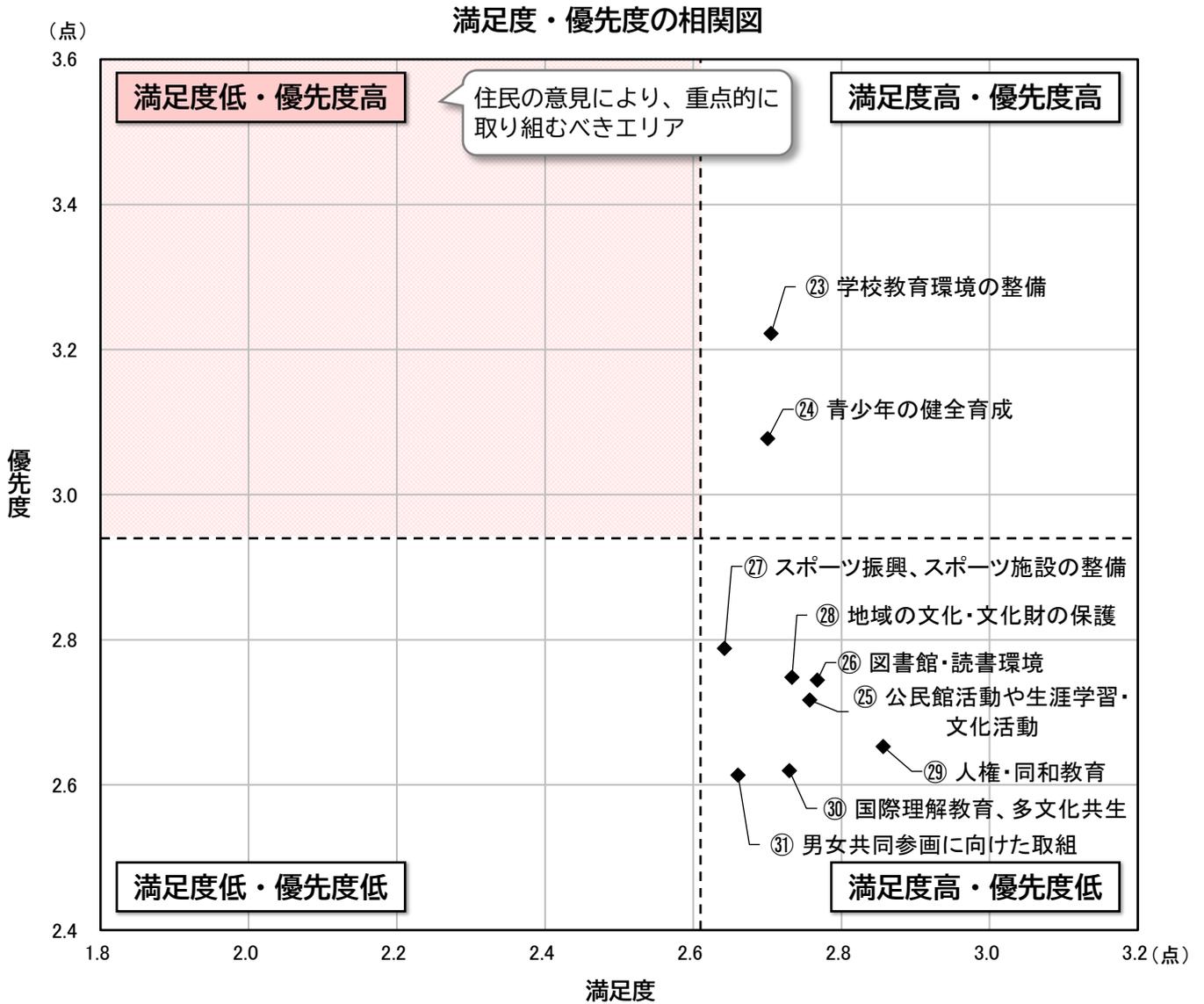
福祉・保健・医療

福祉・保健・医療の分野では、「①⑨ 夜間・救急医療体制」・「②① 障がい者（児）のための福祉サービス」・「②② 高齢者のための福祉サービス」の項目について、満足度が低く優先度が高いところに位置していることから、急病時にも安心して対応できる夜間・救急医療の体制整備や、障がいのある方や高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、相談支援・生活支援・介護サービス等の充実が求められます。



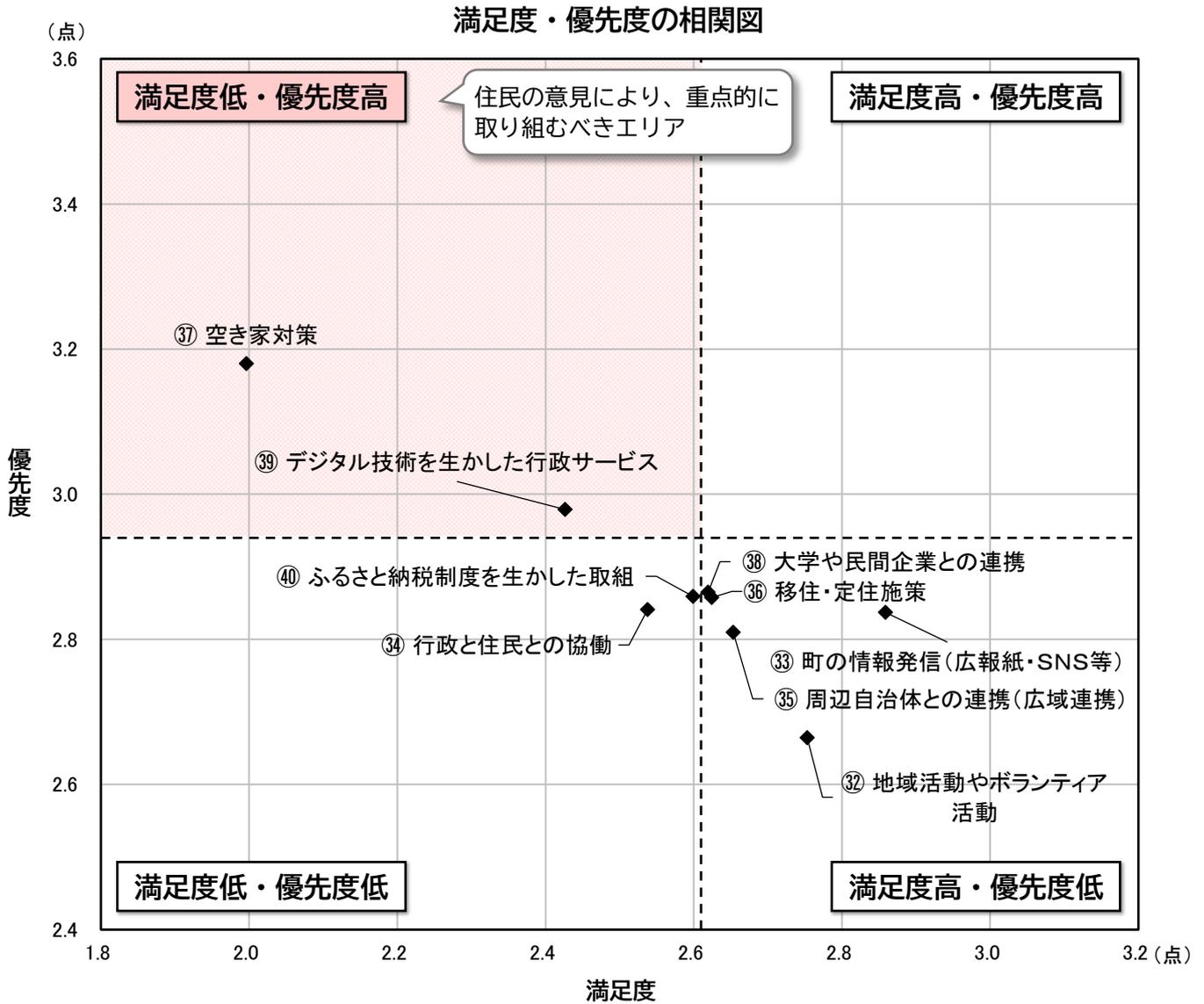
教育・文化・人権

教育・文化・人権の分野では、満足度が低く優先度が高いところに位置している項目はなく、全て満足度が高いところに位置しています。



まちづくり全般

まちづくり全般では、「③⑦ 空き家対策」・「③⑨ デジタル技術を生かした行政サービス」の項目について、満足度が低く優先度が高いところに位置していることから、空き家の発生防止や利活用の促進による住環境の改善、行政手続の利便性向上や情報発信の強化等、デジタル技術を活用した住民サービスの向上が求められます。

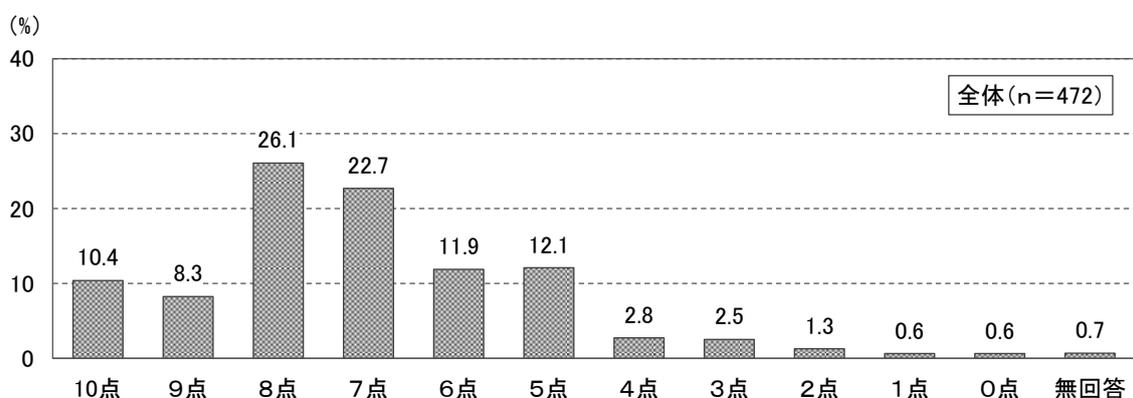


6. 地域幸福度について（国同様の設問）

問 現在、あなたはどの程度幸せですか。

町民

- ・「8点」が26.1%と最も高く、次いで、「7点」(22.7%)、「5点」(12.1%)の順となっています。また、平均は7.0点となっています。
- ・性別で見ると、幸福度の平均値は男性に比べて女性が高く、年齢層別で見ると、30歳代の幸福度の平均値が高くなっています。



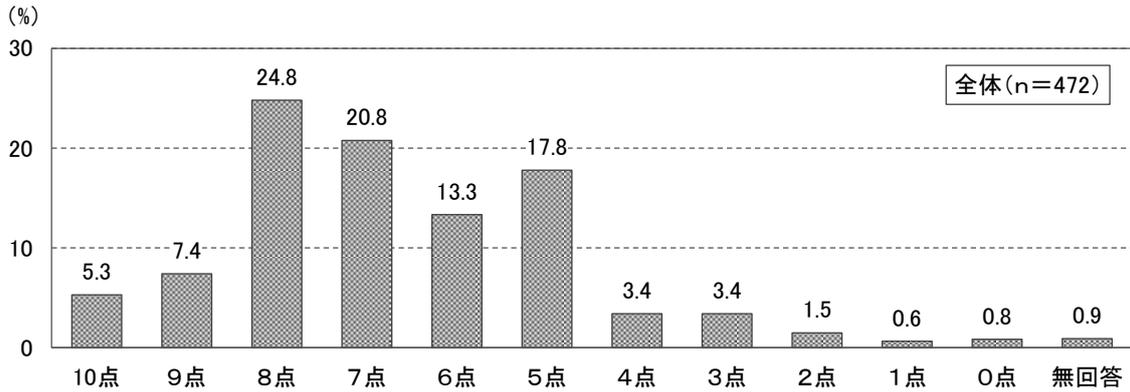
		(n=)	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	無回答	平均
全体		472	49 10.4%	39 8.3%	123 26.1%	107 22.7%	56 11.9%	57 12.1%	13 2.8%	12 2.5%	6 1.3%	3 0.6%	3 0.6%	4 0.7%	7.0
性別	男性	204	24 11.8%	13 6.4%	49 24.0%	51 25.0%	25 12.3%	20 9.8%	8 3.9%	7 3.4%	3 1.5%	1 0.5%	2 1.0%	1 0.4%	7.0
	女性	254	25 9.8%	25 9.8%	71 28.0%	55 21.7%	28 11.0%	33 13.0%	4 1.6%	5 2.0%	2 0.8%	2 0.8%	1 0.4%	3 1.1%	7.2
年齢	18～29歳	47	5 10.6%	4 8.5%	10 21.3%	15 31.9%	4 8.5%	4 8.5%	2 4.4%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	7.0
	30～39歳	63	10 15.9%	11 17.5%	16 25.4%	7 11.1%	8 12.7%	6 9.5%	1 1.6%	1 1.6%	2 3.1%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	7.4
	40～49歳	68	7 10.3%	4 5.9%	19 27.9%	15 22.1%	7 10.3%	10 14.7%	2 2.9%	3 4.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	7.0
	50～59歳	87	11 12.6%	11 12.6%	24 27.6%	17 19.5%	4 4.6%	10 11.5%	5 5.7%	3 3.5%	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	7.2
	60～69歳	102	6 5.9%	5 4.9%	30 29.4%	31 30.4%	14 13.7%	9 8.8%	1 1.0%	3 2.9%	2 2.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	7.0
	70歳以上	104	10 9.6%	4 3.8%	24 23.1%	22 21.2%	19 18.3%	17 16.3%	2 1.9%	1 1.0%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%	3 2.8%	6.9

※点数が高いほど、幸せであることを示しています。

問 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。

町民

- ・「8点」が24.8%と最も高く、次いで、「7点」(20.8%)、「5点」(17.8%)の順となっています。また、平均は6.7点となっています。
- ・年齢層別で見ると、満足度の平均値は加齢につれて低くなる傾向にあり、最頻値(最も多くの人を感じる満足度)は70歳以上が5点と他の年代に比べて低くなっています。



		(n=)	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	無回答	平均
全体		472	25	35	117	98	63	84	16	16	7	3	4	4	6.7
			5.3%	7.4%	24.8%	20.8%	13.3%	17.8%	3.4%	3.4%	1.5%	0.6%	0.8%	0.9%	
性別	男性	204	12	13	46	43	32	37	7	7	2	1	3	1	6.6
			5.9%	6.4%	22.5%	21.1%	15.7%	18.1%	3.4%	3.4%	1.0%	0.5%	1.5%	0.5%	
	女性	254	13	22	67	55	29	41	8	9	4	2	1	3	6.8
			5.1%	8.7%	26.4%	21.7%	11.4%	16.1%	3.1%	3.5%	1.6%	0.8%	0.4%	1.2%	
年齢	18～29歳	47	1	5	14	10	7	5	1	2	1	0	1	0	6.7
			2.1%	10.6%	29.8%	21.3%	14.9%	10.6%	2.1%	4.4%	2.1%	0.0%	2.1%	0.0%	
	30～39歳	63	4	7	18	9	10	9	3	3	0	0	0	0	6.9
			6.2%	11.1%	28.6%	14.3%	15.9%	14.3%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40～49歳	68	8	4	13	17	7	12	1	2	2	1	0	1	6.8
			11.8%	5.9%	19.1%	25.0%	10.3%	17.6%	1.5%	2.9%	2.9%	1.5%	0.0%	1.5%	
50～59歳	87	3	5	27	14	14	16	3	2	1	0	2	0	6.6	
			3.4%	5.7%	31.0%	16.1%	16.1%	18.4%	3.4%	2.3%	1.3%	0.0%	2.3%	0.0%	
60～69歳	102	4	7	21	35	9	14	5	4	1	1	1	0	6.6	
			3.9%	6.9%	20.6%	34.3%	8.8%	13.7%	4.9%	3.9%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	
70歳以上	104	5	7	24	13	16	27	3	3	2	1	0	3	6.5	
			4.8%	6.7%	23.1%	12.5%	15.4%	26.0%	2.9%	2.9%	1.9%	1.0%	0.0%	2.8%	

※点数が高いほど、満足であることを示しています。

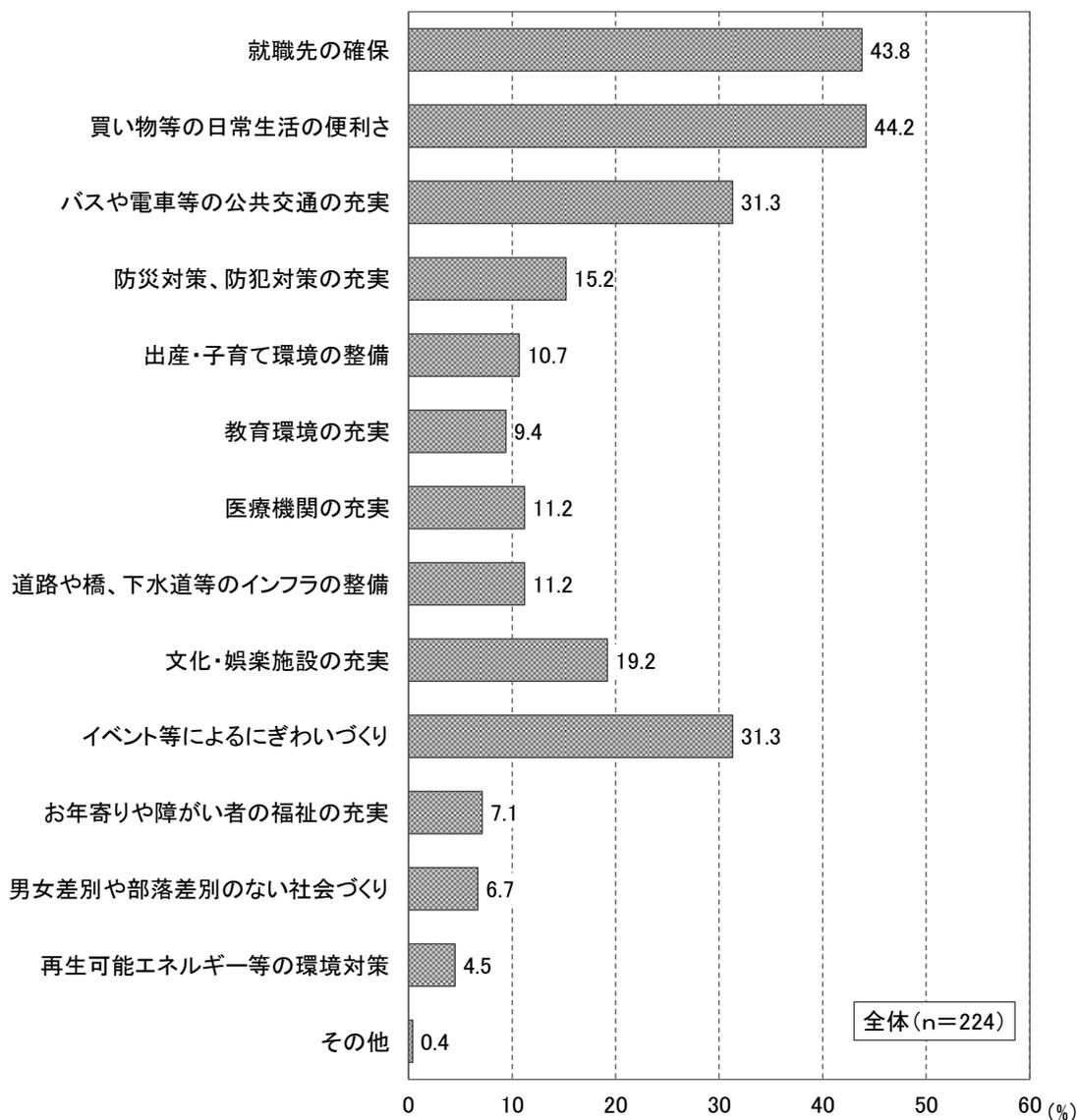
7. 三木町のまちづくりの方向性について

問

将来も三木町で住み続けるには何が必要ですか？またどんな取組を進めればよいと思いますか？【複数回答可】

中学生

- ・「買い物等の日常生活の便利さ」が44.2%と最も高く、次いで、「就職先の確保」(43.8%)、「イベント等によるにぎわいづくり」(31.3%)の順となっています。
- ・生徒にとって、子育て、教育、福祉等、ライフステージに応じた施策より、就職先や生活利便性等の日常生活や、にぎわいづくり及び遊び場整備等、町の活力づくりに焦点を当てた意見が大多数を占めました。



8. 自由記述（一部抜粋）

問 「未来の三木町」について、ご意見やご要望【自由記述】

※この設問は、自由記述形式のため、意見の記述をピックアップしました。

町民

- 高齢者の免許返納や車を持たない世帯でも困らないよう、路線拡充・デマンド交通・乗合タクシー等、車がなくても暮らせる移動環境の整備が求められる。
- 保育所・病児保育の確保、小児科の受診環境、遊び場・公園の拡充、学校施設の改築と防犯対策等、安心して子どもを産み育てられる町を望む。
- 低料金で入所できる施設、在宅介護支援、地域見守り、救急受入れの強化等、高齢になっても住み続けられるまちづくりを期待する。
- Uターン就職先や産業基盤の確保、大学学部の拡充、農学部・医大との連携による新産業創出等、若者定着と税収確保を図ってほしい。
- 道路幅員確保、歩道整備、河川改修、街灯増設、災害・防犯無線の聞き取りやすさ向上等、安全・安心の基盤整備が求められる。
- 農地や緑地の保全、野焼き・悪臭対策、景観や生態系を生かした観光資源化等、自然を生かしたまちづくりを推進してほしい。
- 空き家の強制指導・利活用、耕作放棄地の再生、リフォーム補助の拡充等、住み続けられる環境整備が求められる。
- イベントやスポーツ施設、文化・芸術活動の場、世代間交流の仕組み等、人が集い活気を生む場の整備と地域負担軽減の両立が課題。
- デジタル化推進と高齢者・移住者への配慮、ゴミ集積・クリーン作戦の見直し、防災・広報のわかりやすさ向上等、住民ニーズを的確に反映する行政運営が求められる。
- 特産品（希少糖・いちご等）や祭り、自然景観を生かした観光・PR、道の駅や小規模交流拠点の整備により人を呼び込む仕組みづくりが求められる。
- 誰もが手軽に運動できる公園・スポーツ施設、健康習慣を支援する仕組みづくり等、みんなが健康になれる町を目指してほしい。

中学生

- 現在の豊かな自然環境を守りながら、買い物・交通等、都市的な利便性を高め、ほど良い都会として発展してほしい。
- 公園やスポーツ施設、イベント等、若い世代が気軽に集い楽しめる場を増やし、地域交流を活性化してほしい。
- 地震・豪雨対策の強化、街灯の増設、交通ルール順守、犯罪抑止等、安心して暮らせるまちづくりを求めている。
- 従来の充実した子育て支援や教育制度を生かし、将来にわたって住み続けたいと思える環境づくりを望んでいる。
- 希少糖やいちご等、特産品、祭り・伝統文化を生かし、観光振興や雇用創出によって賑わいを高めてほしい。
- 年齢・性別を問わず互いに支え合い、働きやすく人口減少を防げる持続的な町を目指してほしい。